

平成24年度 当初予算

主な事業の説明書

建設部

款	項	目	大	事	業	ページ
6	1	9	10	国土調査事業費		6 - 1
6	1	9	11	国土調査事業費（単独分）		6 - 2
8	2	1	15	市道敷地等未登記対策費		6 - 3
8	2	2	10	道路維持管理費		6 - 4
8	2	2	14	除雪機械購入費		6 - 5
8	2	2	16	真木真昼県立自然公園内市道整備費		6 - 6
8	2	2	20	道路側溝等環境改善事業費		6 - 7
8	2	2	22	（新規）LED街路灯ESCO事業費		6 - 8
8	2	4	15	社会資本整備総合交付金事業費（南外1号線）		6 - 9
8	2	4	29	社会資本整備総合交付金事業費（愛宕下・浮島・合貝跨線橋）		6 - 10
8	2	4	32	道路改良事業費		6 - 11
8	2	6	10	橋りょう維持費（社会資本整備総合交付金事業費：橋梁長寿命化修繕計画策定）		6 - 12
8	2	8	01	交通安全施設整備費		6 - 13
8	3	7	16	中通線街路整備事業費（補助分）		6 - 14
8	3	7	17	（新規）中通線街路整備事業費（単独分）		6 - 15
8	3	7	18	（新規）大曲駅前通り線街路整備事業費（補助分）		6 - 16
8	4	1	11	市営住宅維持管理費		6 - 17
8	4	1	12	住宅・建築物耐震改修等事業費		6 - 18
8	4	1	20	住宅リフォーム支援事業費		6 - 19
8	4	2	10	社会資本整備総合交付金事業費（地域住宅事業）		6 - 20
8	5	1	11	河川維持管理費		6 - 21
8	7	1	10	公園維持管理費		6 - 22
8	7	3	14	飯田沼つり公園整備事業費		6 - 23

[土地区画整理事業特別会計]

1	1	1	10	大曲駅前第二地区土地区画整理事業費（補助分）		6 - 24
1	1	1	11	大曲駅前第二地区土地区画整理事業費（単独分）		6 - 24
1	1	1	12	大曲駅前第二地区土地区画整理事業費（県補助分）		6 - 24
1	1	1	13	住宅市街地総合整備事業費		6 - 25

[公共下水道事業特別会計]

2	1	1	14	住宅市街地総合整備事業費（補助分）		6 - 25
2	1	1	15	住宅市街地総合整備事業費（単独分）		6 - 25

事 業 説 明 書

6 款 1 項 9 目 10 事業

新規 ・ 継続 ・ 廃止

課所名 建設部 道路河川課

(施策の大綱) 市街地の整備

(施策) 計画的な開発の推進

(基本事業) 土地利用計画の推進

【事業名】 国土調査事業費																										
【説明項目】 国土調査による地籍の明確化について																										
【24年度】 30,033 千円	【23年度】 17,030 千円 【増減額】 13,003 千円																									
1. 事業の目的																										
<p>国土の開発及び保全並びにその利用の高度化に資するとともに、合わせて地籍の明確化を図ることを目的とする。</p>																										
2. 事業の目標																										
<p>地籍調査の成果である地積図を作成し、公共土木・土地改良・農業構造改善・都市計画・総合開発・宅地造成の事業に利用するとともに土地の権利関係の明確化・公租公課の公平化・不動産登記簿の整備を図ることを目標とする。</p>																										
<p>【目標数値】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">西仙北</td> <td style="width: 10%;">80%</td> <td style="width: 10%;">%</td> <td style="width: 65%;">(平成24年度末までの進捗率)</td> </tr> <tr> <td>協和</td> <td>78%</td> <td>%</td> <td style="text-align: center;">//</td> </tr> <tr> <td>太田</td> <td>60%</td> <td>%</td> <td style="text-align: center;">//</td> </tr> </table>		西仙北	80%	%	(平成24年度末までの進捗率)	協和	78%	%	//	太田	60%	%	//													
西仙北	80%	%	(平成24年度末までの進捗率)																							
協和	78%	%	//																							
太田	60%	%	//																							
3. 事業の概要																										
<p>平成24年度事業概要</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">地域</th> <th style="width: 15%;">事業費 (千円)</th> <th colspan="3">事業概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>西仙北</td> <td>4,370</td> <td>第1 (A=0.25Km²)</td> <td>第2 (0.15Km²)</td> <td>検証測量 (0.25k m²)</td> </tr> <tr> <td>協和</td> <td>6,933</td> <td>第1 (A=0.87Km²)</td> <td>第2 (0.88Km²)</td> <td>検証測量 (1.5k m²)</td> </tr> <tr> <td>太田</td> <td>18,730</td> <td>第1 (A=0.40Km²)</td> <td>第2 (0.32Km²)</td> <td>第3 (0.48k m²)</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>30,033</td> <td colspan="3"></td> </tr> </tbody> </table>		地域	事業費 (千円)	事業概要			西仙北	4,370	第1 (A=0.25Km ²)	第2 (0.15Km ²)	検証測量 (0.25k m ²)	協和	6,933	第1 (A=0.87Km ²)	第2 (0.88Km ²)	検証測量 (1.5k m ²)	太田	18,730	第1 (A=0.40Km ²)	第2 (0.32Km ²)	第3 (0.48k m ²)	計	30,033			
地域	事業費 (千円)	事業概要																								
西仙北	4,370	第1 (A=0.25Km ²)	第2 (0.15Km ²)	検証測量 (0.25k m ²)																						
協和	6,933	第1 (A=0.87Km ²)	第2 (0.88Km ²)	検証測量 (1.5k m ²)																						
太田	18,730	第1 (A=0.40Km ²)	第2 (0.32Km ²)	第3 (0.48k m ²)																						
計	30,033																									
4. これまでの成果と今後の方向性																										
<ul style="list-style-type: none"> ・ 土地の権利関係が明確になる。 ・ 課税の適正化が図られる。 ・ 災害発生時、座標数値から迅速な復旧が図られる。 																										
<p>《H23年度事務事業評価における内容》</p> <p>全市で国土調査を行い同一の成果品を保有し、市民の要望に対応するためには、事業の拡大が必要である。また、大災害発生後の復旧が迅速にできる。このため、未実施の地区についても早急に実施していく必要がある。</p>	<p>総合評価 (今後の方向性)</p> <p style="font-size: 1.2em; font-weight: bold;">拡大</p>																									
5. 財源内訳																										
(単位:千円)																										
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源																						
30,033	22,524			7,509																						
【国県支出金】 15 款 2 項 5 目 国土調査事業費補助金																										

事 業 説 明 書

6 款 1 項 9 目 11 事業

新規 ・ 継続 ・ 廃止

課所名 建設部 道路河川課

(施策の大綱) 市街地の整備

(施策) 計画的な開発の推進

(基本事業) 土地利用計画の推進

【事業名】 国土調査事業費(単独分)				
【説明項目】 国土調査による地籍の明確化について				
【24年度】	7,322 千円	【23年度】	7,771 千円	【増減額】 △ 449 千円
1. 事業の目的				
国土の開発及び保全並びにその利用の高度化に資するとともに、合わせて地籍の明確化を図ることを目的とする。				
2. 事業の目標				
地籍調査の成果である地積図を作成し、公共土木・土地改良・農業構造改善・都市計画・総合開発・宅地造成の事業に利用するとともに土地の権利関係の明確化・公租公課の公平化・不動産登記簿の整備を図ることを目標とする。				
【目標数値】				
西仙北	80%	%	(平成24年度末までの進捗率)	
協和	78%	%	//	
太田	60%	%	//	
3. 事業の概要				
平成24年度事業概要				
地域	事業費(千円)	事業概要		
西仙北	1,899	地籍管理システム保守業務委託及びリース料、過年度修正業務委託		
協和	2,875	地籍管理システム保守業務委託及びリース料、過年度修正業務委託		
太田	2,548	地籍管理システム保守業務委託及びリース料、過年度修正業務委託		
計	7,322			
4. これまでの成果と今後の方向性				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 土地の権利関係が明確になる。 ・ 課税の適正化が図られる。 ・ 災害発生時、座標数値から迅速な復旧が図られる。 				
《H23年度事務事業評価における内容》				総合評価 (今後の方向性)
<p>全市で国土調査を行い同一の成果品を保有し、市民の要望に対応するためには、事業の拡大が必要である。また、大災害発生後の復旧が迅速にできる。このため、未実施の地区についても早急に実施していく必要がある。</p>				拡大
5. 財源内訳				
(単位:千円)				
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
7,322				7,322

事 業 説 明 書

8 款 2 項 1 目 15 事業

新規 ・ **継続** ・ 廃止

課所名 建設部 道路河川課

(施策の大綱) 道路の整備

(施策) 市道の整備

(基本事業) 生活道路の整備

【事業名】 市道敷地等未登記対策費 【説明項目】 市道敷地等未登記対策費について																												
【24年度】 6,753 千円 【23年度】 7,303 千円 【増減額】 △ 550 千円																												
1. 事業の目的 道路敷地等の未登記の解消を図る。																												
2. 事業の目標 平成22年度4月1日現在の未登記2,678筆について、22年度に30筆の解消を図り、残る2,648筆について年次計画を立て、年間50筆程度の未登記解消を図ることを目標とする。 【目標数値】 年間30筆以上の登記を図る。																												
3. 事業の概要 平成24年度事業概要 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">地域</th> <th style="width: 20%;">事業費(千円)</th> <th style="width: 70%;">事業概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>神岡</td> <td style="text-align: center;">528</td> <td>2筆</td> </tr> <tr> <td>中仙</td> <td style="text-align: center;">1,309</td> <td>9筆</td> </tr> <tr> <td>協和</td> <td style="text-align: center;">820</td> <td>6筆</td> </tr> <tr> <td>南外</td> <td style="text-align: center;">3,450</td> <td>23筆</td> </tr> <tr> <td>仙北</td> <td style="text-align: center;">346</td> <td>29筆</td> </tr> <tr> <td>太田</td> <td style="text-align: center;">300</td> <td>2筆</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td style="text-align: center;">6,753</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					地域	事業費(千円)	事業概要	神岡	528	2筆	中仙	1,309	9筆	協和	820	6筆	南外	3,450	23筆	仙北	346	29筆	太田	300	2筆	計	6,753	
地域	事業費(千円)	事業概要																										
神岡	528	2筆																										
中仙	1,309	9筆																										
協和	820	6筆																										
南外	3,450	23筆																										
仙北	346	29筆																										
太田	300	2筆																										
計	6,753																											
4. これまでの成果と今後の方向性 未登記を解消したことにより、公有財産の保全が保たれ市民の不安を解消できた。また、今後については、未登記解消のメドが立った箇所から実施していく。																												
《H23年度事務事業評価における内容》 市道敷地の未登記は私有財産に影響を与えており、可能な限り早期に解消すべきと考えるが、相続等の登記に関わる諸問題には膨大な経費と時間を要することから、未登記問題については、解消が見込まれる物件から進めている。				総合評価 (今後の方向性) 改善しながら 継続																								
5. 財源内訳 <div style="text-align: right;">(単位:千円)</div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">予算額</th> <th style="width: 20%;">国県支出金</th> <th style="width: 20%;">市債</th> <th style="width: 20%;">その他</th> <th style="width: 25%;">一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">6,753</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">6,753</td> </tr> </tbody> </table>					予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源	6,753				6,753														
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源																								
6,753				6,753																								

事 業 説 明 書

8 款 2 項 2 目 10 事業

新規 ・ **継続** ・ 廃止

課所名 建設部 道路河川課

(施策の大綱) 道路の整備

(施策) 市道の整備

(基本事業) 生活道路の整備

【事業名】 道路維持管理費				
【説明項目】 市道の維持管理について				
【24年度】	230,780 千円	【23年度】	221,580 千円	【増減額】 9,200 千円
1. 事業の目的				
市が管理する道路について、適切な維持管理を行い市民生活の安全を図るとともに、市民に安全な道路を提供する。				
2. 事業の目標（数値目標）				
道路パトロールにより発見された損傷箇所や、市民からの通報による損傷箇所を迅速に修繕し、安全な道路交通網を維持する。				
【目標数値】				
平成23年4月1日現在の路線数6,578路線、市道延長3,195kmの適正な維持管理を行う。				
3. 事業の概要				
平成24年度事業概要				
	地域	事業費（千円）	事 業 概 要	
	大曲	88,067	舗 装：陥没カ所の修繕、一部区間のオーバレイ 側 溝：破損カ所の修繕 街 路 灯：不具合箇所の修繕 道路付属物：不具合箇所の修繕(歩車道境界ブロック等の修繕) そ の 他：突発的な維持修繕	
	神岡	16,622		
	西仙北	30,556		
	中仙	23,956		
	協和	21,686		
	南外	13,289		
	仙北	17,412		
	太田	19,192		
	計	230,780		
4. これまでの成果と今後の方向性				
市道を常に良好な状態に保ち、交通事故等を未然に防いだ。今後も、パトロール等を強化しながら、市民の要望、苦情にも迅速に対応していきたい。				
《H23年度事務事業評価における内容》				総合評価 (今後の方向性)
道路に対する市民からの多種多様化する要望が年々増加してきている。 また、限られた、予算の中では、新たに建設する道路より、現在の道路を維持管理していく方が重要である。				改善しながら 継続
5. 財源内訳				
(単位:千円)				
	予算額	国県支出金	市債	その他 一般財源
	230,780			357 230,423
【その他】 13 款 1 項 7 目 行政財産使用料、法定外公共用財産使用料				

事 業 説 明 書

8 款 2 項 2 目 14 事業

新規 ・ **継続** ・ 廃止

課所名 建設部 道路河川課

(施策の大綱) 雪対策の強化

(施策) 除雪、排雪の充実

(基本事業) 除雪設備の充実

【事業名】 除雪機械購入費				
【説明項目】 除雪機械の購入について				
【24年度】	30,998 千円	【23年度】	12,533 千円	【増減額】 18,465 千円
1. 事業の目的				
冬期市民生活の交通網確保と地域産業の円滑な活動推進を図るため、除雪機械の計画的な更新を行う。				
2. 事業の目標 (数値目標)				
老朽化により作業効率が著しく低下し、修繕費が増加している除雪機械について、優先順位を勘案し更新を行う。				
－今年度の目標数値－				
補助事業対象機械 1 台の更新 (地域のニーズに合わせた機種変更を実施)				
配備計画機械：ロータリ除雪車 (除雪幅2.2m級)				
更新対象機械：除雪ドーザ (12t級)				
3. 事業の概要				
事業区分：国庫補助 (社会資本整備総合交付金事業 [雪寒機械の更新])				
補助率：補助対象事業費の2/3				
※ 補助対象事業費：機械購入費－更新対象機械の現存価格				
配備計画機械：ロータリ除雪車 (除雪幅2.2m級)				
更新対象機械：除雪ドーザ (12t級) 昭和54年度配備、累積稼働：6,557hr、累積修繕：13,217千円				
参考資料：平成23年度大仙市除雪事業の概要				
道路延長：3,195,640m、除雪延長：(車道)1,662,753m (歩道)112,058m、除雪割合：52%				
稼働機械：市保有機械109台、委託業者保有機械130台				
委託状況：[業者委託]60者、[企業体委託]2組織、[組合組織委託]6組合				
4. これまでの成果と今後の方向性				
機械更新により除雪能力及び作業効率が向上し、良好な冬期交通網確保に貢献している。今回も同様の効果が期待されるとともに、経年劣化による修繕料削減が見込まれる。				
《H23年度事務事業評価における内容》				総合評価 (今後の方向性)
除雪に対する市民の要望苦情は、年々増加し、多種多様化してきている。現在市で所有している機械は、耐用年数が過ぎているものが多く、維持費にも相当の経費が嵩んでいる。補助事業で購入した除雪機械を順次更新していき、維持経費の削減を図る。				改善しながら 継続
5. 財源内訳				
(単位:千円)				
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
30,998	20,458	10,000		540
【国県支出金】	14 款 2 項 6 目	社会資本整備総合交付金		
【市 債】	21 款 1 項 5 目	除雪機械整備事業債		

事 業 説 明 書

8 款 2 項 2 目 16 事業

新規 ・ **継続** ・ 廃止

課所名 建設部 道路河川課

(施策の大綱) 自然環境の保全

(施策) 森林保全・整備

(基本事業) 森林の公益的機能の保全と活用

【事業名】 真木真昼県立自然公園内市道整備費					
【説明項目】 真木真昼県立自然公園内市道整備費					
【24年度】	2,921 千円	【23年度】	2,921 千円	【増減額】	0 千円
1. 事業の目的					
<p>真木真昼県立自然公園市道の維持管理を適正に行うことにより、市道通行の安全確保を図る。 自然公園内市道：市道真木線及び市道横沢バチ沢線</p>					
2. 事業の目標（数値目標）					
<p>真木真昼県立自然公園市道の維持管理を適正に行うことにより、市道通行の安全確保を図る。</p> <p>【目標数値】</p> <p>真木真昼県立自然公園内の市道約12kmの道路及び道路側溝の適正な維持管理及び貸付地となっている法面の保護。</p>					
3. 事業の概要					
<p>【道路補修】 自然公園内は未舗装であり、通行の安全性の確保及び利便性向上のため、定期的な敷砂利が必要となっていることから、24年度も必要に応じて敷砂利及び路面整正を行う。</p> <p>【側溝等整備】 市道脇に布設された側溝、集水柵及び横断水路を浚せつ・改修等整備をすることで雨水及び雪解け水の市道洗掘を防止する。</p>					
4. これまでの成果と今後の方向性					
<p>観光資源である県立自然公園内を通る市道を適正に整備することによって、登山客及び観光客の安全性及び利便性を確保でき、更なる観光客誘致にも繋がる。</p>					
《H23年度事務事業評価における内容》 経常的な道路整正、路肩の草刈、側溝整備等を行い道路維持の適正化を図ったことで、市道真木線では利用者の利便性及び安全性が確保され、市道横沢バチ沢線では10月からの通行止め区域の解放（歩行者のみ）に結びついた。 24年度も引き続き維持管理を実施し、利用者の利便性と安全性の確保を図る。				総合評価 (今後の方向性) 改善しながら 継続	
5. 財源内訳					
(単位:千円)					
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源	
2,921				2,921	

事 業 説 明 書

8 款 2 項 2 目 20 事業

新規 ・ 継続 ・ 廃止

課所名 建設部 道路河川課

(施策の大綱) 道路の整備

(施策) 市道の整備

(基本事業) 生活道路の整備

【事業名】 道路側溝等環境改善事業費 【説明項目】 高圧洗浄車・バキューム吸引車汚泥等の処理事業について				
【24年度】 10,246 千円 【23年度】 9,953 千円 【増減額】 293 千円				
1. 事業の目的 自治組織から要望の多い市道側溝(横断含む)に堆積している汚泥の処理に対し、迅速に対応して住環境の整備を図るとともに、農業関連の用排水路に堆積する汚泥を除去し、農業地区の環境改善を図ることを目的とする。				
2. 事業の目標 (数値目標) 市内の住民から要望の多い市道側溝や、農業関連用排水路の汚泥に迅速に対応し市内全域の環境改善を図る。基本的に、町内会で実施してきた側溝清掃については、これまで同様地域の協力をお願いすることとし、町内会で清掃困難な大型集水桝や、暗渠等については、迅速に対応する。				
3. 事業の概要 ◇平成24年度は事業開始3年目に当たる。平成23年度の実施要望箇所83件に対し、79件を実施した。(未実施4件は要望取り下げ) ◇実施箇所については、悪臭の改善や用排水機能に格段の改善が確認された。 ◇道路側溝等環境改善事業費の内、委託料が約870万円と約90%を占めている。(委託料の主なものは大仙市環境清掃組合への委託及び汚泥処分業務委託が主なもの。)				
4. これまでの成果と今後の方向性 高圧洗浄車及びバキューム車の購入に3千万円の先行投資し、以後も年度単位約900万の業務委託料等の費用が必要となるが、民間委託との費用対効果を考慮すれば長期的には、評価できる。 ただ、高圧洗浄車及びバキューム車とも新車購入であり、経年とともに汚泥を扱っているもので修繕費がかかり増しするものと思慮される。				
《H23年度事務事業評価における内容》 当該事業は、環境改善に寄与し市民の生活環境の改善・向上の観点からも、有用性の高いものとなっている。 限られた予算の中で、より良好な生活環境の整備を図るため、地域住民の協力を仰ぐなど創意工夫による効率的な事業運営が望まれる。				総合評価 (今後の方向性) 改善しながら 継続
5. 財源内訳 (単位:千円)				
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
10,246				10,246

事 業 説 明 書

8 款 2 項 2 目 22 事業

新規 ・ 継続 ・ 廃止

課所名 建設部 道路河川課

(施策の大綱) 自然環境の保全

(施策) 地球温暖化防止対策

(基本事業) 省エネルギー・新エネルギーの推進

【事業名】 LED街路灯ESCO事業
 【説明項目】 LED街路灯ESCO事業について

【24年度】 11,500 千円 【23年度】 0 千円 【増減額】 11,500 千円

1. 事業の目的
 既存の街路灯及び公園灯のうち、LED化可能な物件を改修し、二酸化炭素排出量を削減するとともに年間維持管理コストの削減を図る。

2. 事業の目標 (数値目標)
 市内の約9,000灯をLED化し、改修後10年間に削減される維持管理費の範囲内で事業費を賄う。事業費以上のコスト削減分で、道路維持内容を充実させると共に、一般財源の事業負担を低減させる。全体計画の目標数：(平成24年度～34年度)コスト削減分で事業費を賄い、更なるコスト削減を目指す。平成24年度単年度の目標数値：全対象物件のLED化改修

3. 事業の概要
 事業区分：ESCO事業 ※ESCO事業：維持管理経費削減を行い、対価を得る事業
 事業期間：平成24年度～平成34年度 (H24.10.1～H34.9.30)
 平成24年度：設備改修 (全対象物件のLED化)
 平成25年度～：リース料金の支払い (削減された維持管理費から支出)
 事業内容：市内の街路灯(地下道灯を含む)及び公園灯のうち、LED化可能な物件を改修する。
 対象数：9,045灯
 街路灯：8,850、地下道灯：170灯、公園灯：25灯
 事業のメリット：使用電力量低減に伴い二酸化炭素排出量が削減され、地球温暖化対策に貢献する。設備の長寿命化が図られ修繕料支出が抑制される。事業期間中(10年間)は、改修設備修繕が保証対象となる。(天災によるものは除く)電気料及び修繕料削減総額は事業費以上が見込まれる。

4. これまでの成果と今後の方向性
 新たな取り組みであるが、他県自治体では先進的に実施され、コスト削減が実証されている。事業趣旨は環境対策であるが、維持管理コスト削減により、逼迫している財政面への効果が期待される。また、電球等の長寿命化により球切れ等が大幅に削減され、安全面への効果も大きいと考えられる。

《H23年度事務事業評価における内容》	総合評価 (今後の方向性)
H24新規事業のため対象外	—

5. 財源内訳 (単位:千円)

予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
11,500				11,500

事 業 説 明 書

8 款 2 項 4 目 15 事業

新規 ・ **継続** ・ 廃止

課所名 建設部 道路河川課

(施策の大綱) 道路の整備

(施策) 市道の整備

(基本事業) 生活道路の整備

【事業名】 社会資本整備総合交付金事業費 (南外1号線)				
【説明項目】 事業内容について				
【24年度】	100,000 千円	【23年度】	45,000 千円	【増減額】 55,000 千円
1. 事業の目的				
<p>西仙北・南外・大曲地域を結ぶ主要幹線道路であり、秋田自動車道大曲IC・西仙北ICや秋田空港を結ぶ幹線道路の整備を行う。</p>				
2. 事業の目標 (数値目標)				
<p>平成23年度から5ヶ年計画で、平成27年度に供用を開始することを目標とする。</p> <p>【目標数値】</p> <p>平成27年12月に供用開始を予定</p>				
3. 事業の概要				
<p>全体計画</p> <p>延長 L = 2, 280 m</p> <p>幅員 W = 7. 0 m</p> <p>総事業費 C = 550, 000 千円</p> <p>事業期間 H23 ~ H27</p> <p>H24年度事業内容</p> <p>延長 L = 800 m</p> <p>事業費 C = 100, 000 千円</p> <p>路体盛土工 V = 82, 000 m³</p>				
4. これまでの成果と今後の方向性				
<p>路線測量・詳細設計・地質調査業務を委託 国土交通省との協議などにより、平成27年度の完工を目指し事業を推進。</p>				
《H23年度事務事業評価における内容》				総合評価 (今後の方向性)
<p>平成23年6月23日～24日の豪雨災害を受け、事業計画の見直しを行い、平均盛土高を1m→2mに変更することにより、安全性の効果が期待できる。また、今後は国土交通省との堤防併用道路の事業推進を重点目標とする。</p>				改善しながら 継続
5. 財源内訳				
(単位:千円)				
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
100,000	60,000	40,000		
【国県支出金】	14 款 2 項 6 目	社会資本整備総合交付金		
【市 債】	21 款 1 項 5 目	道路整備事業債		

事 業 説 明 書

8 款 2 項 4 目 29 事業

新規 ・ 継続 ・ 廃止

課所名 建設部 道路河川課

(施策の大綱) 道路の整備

(施策) 市道の整備

(基本事業) 橋りょう点検及び修繕計画書の策定

【事業名】	社会資本整備総合交付金事業費（愛宕下・浮島・合貝跨線橋）		
【説明項目】	社会資本整備総合交付金事業費（愛宕下・浮島・合貝跨線橋）について		
【24年度】	32,000 千円	【23年度】	20,000 千円
		【増減額】	12,000 千円

1. 事業の目的

大規模地震により秋田新幹線に架かる跨線橋が落橋した場合、二次的被害が大きいと予想されることから、耐震補強を重点的に実施するため、落橋防止工事を行うことを目的とする。

2. 事業の目標（数値目標）

秋田新幹線に架かる橋梁のうち平成21年度は協和地域の合貝跨線橋をJRに委託し落橋防止工事が完成しており、平成23年度は西仙北地域の愛宕下跨線橋の落橋防止工事を行い、平成24年度は浮島跨線橋の落橋防止工事を実施して橋梁落橋防止工事を完成させることを目標とする。

【目標数値】

浮島跨線橋（西仙北地区）L=37.7mの落橋防止工事を実施する。

3. 事業の概要

基本的に各種設計及び工事は、鉄道事業者であるJR東日本への委託により実施

平成19年度：概略設計

平成20年度：詳細設計

平成21年度：落橋防止工事（合貝跨線橋）

平成23年度：落橋防止工事（愛宕下跨線橋）

平成24年度：落橋防止工事（浮島跨線橋）

◇ 事業箇所の概要

西仙北地域

◎愛宕下跨線橋

橋長52.0m幅員9.3m/鋼橋/昭和56年架設

（平成23年度実施）

◎浮島跨線橋

橋長37.7m幅員4.6m/鋼橋/昭和59年架設

協和地域

◎合貝跨線橋

橋長15.3m幅員6.0m/鋼橋/昭和47年架設

（平成21年度実施）

4. これまでの成果と今後の方向性

落橋防止工事を実施したことにより、安全性が向上している。

《H23年度事務事業評価における内容》

- ・平成21年度より実施している。
- ・平成24年度が最終年度である。
- ・落橋防止工事を施工することにより、安全性が向上した。

総合評価
（今後の方向性）

改善しながら
継続

5. 財源内訳

（単位：千円）

予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
32,000	19,200	11,500		1,300

【国県支出金】 14 款 2 項 6 目 社会資本整備総合交付金

【市 債】 21 款 1 項 5 目 道路整備事業債

事 業 説 明 書

8 款 2 項 4 目 32 事業

新規 ・ 継続 ・ 廃止

課所名 建設部 道路河川課

(施策の大綱) 道路の整備

(施策) 市道の整備

(基本事業) 生活道路の整備

【事業名】 道路改良事業費 【説明項目】 市道の改良事業費について				
【24年度】 286,908 千円 【23年度】 232,973 千円 【増減額】 53,935 千円				
1. 事業の目的 道路は、市民生活や経済・社会活動を支える最も基本的なインフラである。 幹線道路は公共施設や都市機能に対する交通利便性の向上を図り、生活道路は安全性・快適性を確保することを目的とする。				
2. 事業の目標（数値目標） 市道延長3,195km(H23.4.1現在値)の内、未改良延長1,275km・未舗装道路延長1,544kmであり、道路改良率は60.10%・舗装率51.68%である。 実施計画で定める平成27年度目標値は道路改良率62.40%・舗装率が53.20%であるため、年次計画に基づき、改良・舗装工事を進め目標値の達成を図る。 【目標数値】 平成27年度末 改良率62.40% 舗装率53.20%				
3. 事業の概要 ◇道路改良、舗装改良、側溝改良の工事を実施し、必要に応じて測量試験、用地買収、物件補償等を行う。 ◇各地域の配分は「道路整備に関する指針」に基づき行った。 現在は、平成25年度から「市道延長による配分割合70%」「人口による配分割合30%」をベースとした配分を目指し、前年比予算額との激変を避けつつ平準化を図っている段階である。 ◇地域別の予算額及び事業の概要				
地域	平成24年度予算額	事業概要		
大曲	74,312 千円	市道8路線の改良、側溝工事、設計委託等		
神岡	23,230 千円	市道3路線の改良、舗装、側溝工事、設計委託等		
西仙北	28,775 千円	市道4路線の舗装、側溝工事、設計委託等		
中仙	37,483 千円	市道7路線の改良、舗装、設計委託等（辺地対策1路線）		
協和	47,001 千円	市道6路線の舗装、側溝工事、設計委託等		
南外	16,743 千円	市道2路線の改良、設計委託等（過疎対策1路線）		
仙北	26,885 千円	市道3路線の改良、舗装		
太田	32,479 千円	市道4路線の改良、舗装、設計委託等		
計	286,908 千円			
4. これまでの成果と今後の方向性 地域の利便性の向上及び安全な道路交通網が確保される。 《H23年度事務事業評価における内容》				
市民の多様化する要求・要望に対応していかなければならないが、要求・要望が新設改良から拡幅改良等にシフトしてきている。			総合評価 (今後の方向性) 改善しながら 継続	
5. 財源内訳				
(単位:千円)				
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
286,908		253,300		33,608
【市債】 21 款 1 項 5 目 道路整備事業債				

事 業 説 明 書

8 款 2 項 6 目 10 事業

新規 ・ **継続** ・ 廃止

課所名 建設部 道路河川課

(施策の大綱) 道路の整備

(施策) 市道の整備

(基本事業) 橋りょう点検及び修繕計画書の策定

【事業名】 橋りょう維持費 【説明項目】 社会資本整備総合交付金事業費（橋梁長寿命化修繕計画策定）について				
【24年度】 32,644 千円 【23年度】 15,238 千円 【増減額】 17,406 千円				
1. 事業の目的 老朽化する橋梁の増大に対応するため、従来の事後的な修繕及び架け替えから予防的な修繕及び架け替えから予防的なものへ円滑な政策転換を図る。 橋梁の長寿命化及び修繕並びに計画的な架け替えに係る費用の縮減を図りつつ、市内道路網の安全性・信頼性を確保する。				
2. 事業の目標（数値目標） 橋長15m未満の橋梁のうち使用頻度の高い205橋及び橋長15m以上の230橋について橋梁点検を実施し、結果を元に橋梁長寿命化修繕計画を策定する。 策定計画を元にした橋梁維持により、「対症療法型」から「予防保全型」へ管理手法転換を図る。 全体計画の目標数：435橋点検（15m未満：205橋、15m以上：230橋）及び長寿命化修繕計画策定 平成24年度単年度の目標数値：280橋点検（15m未満：205橋、15m以上：75橋）				
3. 事業の概要 事業区分：国庫補助（社会資本整備総合交付金事業〔橋梁長寿命化修繕計画策定〕） 補助率：補助対象事業費の60% 事業内容：交通量が多い等の理由により優先度の高い橋梁について、架設年次順及び老朽化が著しい橋梁から順に点検を実施する。 点検結果より長寿命化修繕計画を策定し、これを元に「予防保全型修繕」を行う。 年次計画：平成23年度：橋梁点検（15m以上：155橋） 平成24年度：橋梁点検（15m未満：205橋、15m以上：75橋） 橋梁点検講習（橋梁点検技術習得し、15m未満橋梁の点検を直営実施可能な能力を有する職員を養成する） 平成25年度：橋梁長寿命化修繕計画策定（対象全橋梁）				
4. これまでの成果と今後の方向性 平成23年度より橋梁点検を実施し、橋長15m以上について155橋の点検を完了している。 老朽化が著しい橋梁もあり、未点検橋梁を早期に点検し、全体的な計画を元にした修繕及び維持を実施していくことがトータルコストの削減につながる。				
《H23年度事務事業評価における内容》 橋梁についての市民要望は、年々増加するとともに多種多様化している。 既存橋梁高欄部の防食塗装及び軽微な破損箇所の修繕実施等により、安全面への効果が現れている。 当然のことながら、道路橋は市の責任において管理していく必要があり、市民生活の安全のために本事業は不可欠である。 限られた予算の中で事業実施しており、既存橋梁の点検を実施し大きな損傷に至る前に手当てを行う「予防保全型」の管理が必要である。				総合評価 （今後の方向性） 改善しながら 継続
5. 財源内訳				
(単位:千円)				
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
32,644	18,345			14,299
【国県支出金】 14 款 2 項 6 目 社会資本整備総合交付金				

事 業 説 明 書

8 款 2 項 8 目 1 事業

新規 ・ **継続** ・ 廃止

課所名 建設部 道路河川課

(施策の大綱) 道路の整備

(施策) 市道の整備

(基本事業) 生活道路の整備

【事業名】 交通安全施設整備費				
【説明項目】 交通安全施設の設置及び修繕について				

【24年度】	25,935 千円	【23年度】	24,402 千円	【増減額】 1,533 千円
1. 事業の目的				
道路等に設置されている交通安全施設の設置及び修繕を行い、安全で安心な交通の確保を目的とする。				
2. 事業の目標 (数値目標)				
市内全域において、年間に設置される交通安全施設は概ね街路灯が 50 基、カーブミラーが 25 基、区画線が 12.5km、ガードレール 100m であり、引き続き同程度の施設整備を目標とする。				
市民の要望に対しては、迅速に現地確認を行い修繕等の対処を行う。				
【目標数値】				
市民の安全な交通の確保を目指す。				
3. 事業の概要				
平成 24 年度事業概要				
地域	平成 24 年度予算額	事 業 概 要		
大曲	10,129 千円	カーブミラー、区画線・街路灯等の設置及び補修		
神岡	1,787 千円			
西仙北	2,989 千円			
中仙	2,791 千円			
協和	2,439 千円			
南外	1,689 千円			
仙北	2,062 千円			
太田	2,049 千円			
計	25,935 千円			
4. これまでの成果と今後の方向性				
地域の利便性の向上及び安全な道路交通網が確保される。				
《H23年度事務事業評価における内容》				総合評価 (今後の方向性)
市民の交通安全施設に対する要望は年々増加している。 市民の交通安全を図るには、交通安全施設整備は急務である。				拡大
5. 財源内訳				
(単位:千円)				
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
25,935				25,935

事 業 説 明 書

8 款 3 項 7 目 16 事業

新規 ・ **継続** ・ 廃止

課所名 建設部 都市管理課

(施策の大綱) 道路の整備

(施策) 主要道路網の整備促進

(基本事業) 都市計画道路の整備促進

【事業名】 中通線街路整備事業費（補助分）																
【説明項目】 中通線街路整備事業費（補助分）について																
【24年度】	130,000 千円	【23年度】	12,276 千円	【増減額】 117,724 千円												
1. 事業の目的																
<p>交通の円滑化を図り、交流人口や居住人口の増加に寄与する事により、中心市街地活性化の基本コンセプトである「人が集い輝き続けるまちの拠点づくり」の実現を目的とします。</p>																
2. 事業の目標（数値目標）																
<p>本路線はJR大曲駅の東西地区を結ぶ重要な環状道路である。本事業により、中心市街地における幹線道路の整備を完結させ、交通結節機能の大幅な向上を図り、安全の確保と災害に強い都市構造の実現を目標とする。</p> <p style="text-align: center;">設計計画交通量9,800台/日 大型車混入率15.8%</p>																
3. 事業の概要																
<p>都市計画道路 中通線 L=192.0m 幅員20.0m（車道11.0m 歩道9.0m(4.5m×2)）</p> <p>○事業期間 : H23～H27</p> <p>○全体事業費：460,000,000円 （補助分：438,360,000円） （単独分：21,640,000円）</p> <p>【H24年度事業費】</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 25%;">130,000,000円</td> <td style="width: 25%;">委託料</td> <td style="width: 25%;">建物等調査業務委託費（2戸4棟）</td> <td style="width: 25%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td>公有財産購入費</td> <td>取得面積5戸 747.66㎡</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>補償補填及び賠償金</td> <td>家屋等補償費 4戸6棟</td> <td></td> </tr> </table>					130,000,000円	委託料	建物等調査業務委託費（2戸4棟）			公有財産購入費	取得面積5戸 747.66㎡			補償補填及び賠償金	家屋等補償費 4戸6棟	
130,000,000円	委託料	建物等調査業務委託費（2戸4棟）														
	公有財産購入費	取得面積5戸 747.66㎡														
	補償補填及び賠償金	家屋等補償費 4戸6棟														
4. これまでの成果と今後の方向性																
<ul style="list-style-type: none"> ・ H23年度から事業着手し、詳細設計、用地測量、用地・建物調査業務は概ね計画どおりに実施している。 ・ 事業期間内に関係課（所）と連携しながら街路整備事業を推進する。 																
《H23年度事務事業評価における内容》				総合評価 (今後の方向性)												
<ul style="list-style-type: none"> ・ H23年度は予算措置内で適正に事務執行が行われ、H24年度も継続して事務、事業を円滑に推進する。 				改善しながら 継続												
5. 財源内訳																
(単位:千円)																
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源												
130,000	78,000	49,400		2,600												
【国県支出金】 14款02項06目：社会資本整備総合交付金																
【市債】 21款01項05目：中通線街路整備事業債																

事 業 説 明 書

8 款 3 項 7 目 17 事業

新規 ・ 継続 ・ 廃止

課所名 建設部 都市管理課

(施策の大綱) 道路の整備

(施策) 主要道路網の整備促進

(基本事業) 都市計画道路の整備促進

【事業名】 中通線街路整備事業費 (単独分)																			
【説明項目】 中通線街路整備事業費 (単独分) について																			
【24年度】	6,753 千円	【23年度】	0 千円	【増減額】 6,753 千円															
1. 事業の目的																			
<p>交通の円滑化を図り、交流人口や居住人口の増加に寄与する事により、中心市街地活性化の基本コンセプトである「人が集い輝き続けるまちの拠点づくり」の実現を目的とします。</p>																			
2. 事業の目標 (数値目標)																			
<p>本路線はJR大曲駅の東西地区を結ぶ重要な環状道路である。本事業により、中心市街地における幹線道路の整備を完結させ、交通結節機能の大幅な向上を図り、安全の確保と災害に強い都市構造の実現を目標とする。</p> <p style="text-align: center;">設計計画交通量9,800台/日 大型車混入率15.8%</p>																			
3. 事業の概要																			
<p>都市計画道路 中通線 L=192.0m 幅員20.0m (車道11.0m 歩道9.0m(4.5m×2))</p> <p>○事業期間 : H23~H27</p> <p>○全体事業費 : 460,000,000円 (補助分 : 438,360,000円) (単独分 : 21,640,000円)</p> <p>【H24年度事業費】</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 20%;">6,753,000円</td> <td style="width: 20%;">需用費</td> <td style="width: 20%;">事業執行に係る消耗品等</td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td>委託料</td> <td>土地分筆登記申請事務費 6 筆</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>公有財産購入費</td> <td>取付道路敷及び残地取得費</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					6,753,000円	需用費	事業執行に係る消耗品等				委託料	土地分筆登記申請事務費 6 筆				公有財産購入費	取付道路敷及び残地取得費		
6,753,000円	需用費	事業執行に係る消耗品等																	
	委託料	土地分筆登記申請事務費 6 筆																	
	公有財産購入費	取付道路敷及び残地取得費																	
4. これまでの成果と今後の方向性																			
<p>・ H24~H27の期間に効率的・効果的な事務執行に努め、街路整備事業を推進する。</p>																			
《H23年度事務事業評価における内容》				総合評価 (今後の方向性)															
5. 財源内訳																			
(単位:千円)																			
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源															
6,753		6,100		653															
【市 債】 21款01項05目 : 中通線街路整備事業債																			

事業説明書

8 款 3 項 7 目 18 事業

新規 ・ 継続 ・ 廃止

課所名 建設部 都市管理課

(施策の大綱) 雪対策の強化

(施策) 消雪施設整備の促進

(基本事業) 消雪施設整備の促進

【事業名】 大曲駅前通り線街路整備事業費（補助分）				
【説明項目】 大曲駅前通り線街路整備事業費（補助分）について				
【24年度】	6,258 千円	【23年度】	0 千円	【増減額】 6,258 千円
1. 事業の目的				
現在の散水式消雪設備を無散水融雪設備とすることで、人に優しい歩行者空間を確保し、市街地再開発事業の後押しをし、四季を通じての中心市街地活性化に寄与する。				
2. 事業の目標（数値目標）				
現在の融雪方式では散水時における歩行者のすれ違いや車椅子での歩行が困難な状態にあります。これを無散水方式とし高齢者や障害者が安全に通行できる人に優しい歩行者空間を確保する。				
歩行者通行量 H18=1,692人/日 H19=1,016人/日 H21=226人/日 歩道全幅W=4.0mの内融雪によりW=2.0mを確保する。（現在W=1.5m）				
3. 事業の概要				
都市計画道路駅前通り線 歩道無散水設備設置工事				
○事業期間 : H24～H26				
○全体事業費 : 106,000,000円				
L=250.0m A=1,000m ² (2.0m×250m×2) 揚水井 1井 注入井 1井				
【H24年度事業費】				
6,258,000円 委託費 路線測量業務委託 (L=250m) 融雪設備実施設計業務委託 (L=500m)				
4. これまでの成果と今後の方向性				
・H24～H26の期間に効率的・効果的な事務執行に努め、街路整備事業（無散水融雪設備）を推進する。				
《H23年度事務事業評価における内容》				総合評価 (今後の方向性)
5. 財源内訳				
(単位:千円)				
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
6,258	3,100	3,000		158
【国県支出金】 14款02項06目：社会資本整備総合交付金				
【市債】 21款01項05目：大曲駅前通り線街路整備事業債				

事 業 説 明 書

8 款 4 項 1 目 11 事業

新規 ・ **継続** ・ 廃止

課所名 建設部 建築住宅課

(施策の大綱) 住宅環境の整備

(施策) 住宅、宅地の整備

(基本事業) 市営住宅の整備・管理

【事業名】 市営住宅維持管理費
 【説明項目】 市営住宅維持管理費について

【24年度】 52,796 千円 【23年度】 38,751 千円 【増減額】 14,045 千円

1. 事業の目的

市営住宅の施設・設備を修繕し、周辺環境を整備することにより、入居者が安心・快適に過ごせるよう適性に管理する。

2. 事業の目標 (数値目標)

◎市営住宅入居率 100% を維持していく。(H23年度住宅戸数 536 戸)

3. 事業の概要

■市営住宅の概況

地域	団地数	棟数	戸数	団地名
大曲	4	20	248	上大町、福見、船場、笑の口
神岡	1	3	48	神岡AD, EF, GH棟
西仙北	3	16	59	天神前、愛宕、北ノ沢
中仙	1	6	12	グリーンタウン漆原
協和	6	45	85	境、野田、野田第2、野田第3、峰吉川、合貝 (うち特公賃5戸)
南外	1	12	24	梨木田
太田	2	31	60	北部 (さくら団地) (うち特公賃3戸)、南部 (つつみ団地) (うち特公賃14戸)
計	18	133	536	

■予算内訳

(単位:千円)

主管	工事請負費	報償費	需用費	役務費	委託料	使用料	賃金	公課	負担金	計
建築住宅	1,800	496	12,027	779	5,338	16	44	30		20,530
神岡		96	1,160		612		16			1,884
西仙北	1,260	118	907		361		40			2,686
中仙			684	313	553					1,550
協和	3,780		1,845		34	98				5,757
南外	10,710	108	687	446						11,951
太田	4,253	120	1,810	1,578	644				33	8,438
計	21,803	938	19,120	3,116	7,542	114	100	30	33	52,796

4. これまでの成果と今後の方向性

建物、設備及び周辺環境を適正に維持管理していくことで新規入居や継続入居につながり、家賃収入等を確保することができている。

施設の老朽化に伴い年々修繕費及び工事費が増加しているが、既存住宅を有効活用するためにも限られた予算で良質な住宅環境を整備したい。

《H23年度事務事業評価における内容》

市営住宅の適正な運営のため必要不可欠な事業であり、継続して行う必要があるが、住宅管理については今後指定管理者制度の導入も検討し、限られた管理費の抑制を図る必要がある。

総合評価
(今後の方向性)

改善しながら
継続

5. 財源内訳

(単位:千円)

予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
52,796	9,112		43,684	

【国県支出金】 14款2項6目 : 社会資本整備総合交付金、公的賃貸住宅家賃対策調整補助金

【その他】 13款1項7目 : 市営住宅使用料、市営住宅駐車場使用料、市営住宅併設店舗使用料

事 業 説 明 書

8 款 4 項 1 目 12 事業

新規 ・ **継続** ・ 廃止

課所名 建設部 建築住宅課

(施策の大綱) 住宅環境の整備

(施策) 住宅、宅地の整備

(基本事業) 住宅・建築物の耐震化

【事業名】	住宅・建築物耐震改修等事業費				
【説明項目】	住宅・建築物の耐震診断及び耐震改修事業について				
【24年度】	10,633 千円	【23年度】	1,800 千円	【増減額】	8,833 千円

1. 事業の目的
耐震改修促進法を受け、地震による住宅・建築物等の倒壊又は損傷により生ずる人身被害及び物的被害を防止・軽減させることを目的として、住宅及び建築物の耐震化を促進し市民の安全性を確保する。

2. 事業の目標（数値目標）
◎市耐震改修促進計画に基づき、平成27年度まで一般木造住宅の耐震化率60%を達成する。
◎市耐震改修促進計画に基づき、平成26年度まで市営住宅の耐震化率100%を達成する。
※市所有建築物については、平成32年度までに耐震化率100%を目指す。

3. 事業の概要
●一般木造住宅
○事業年度 平成23年度～27年度（5年間） ○概算総額 9,000千円
【大仙市木造住宅耐震改修等補助金交付要綱概要】
◇耐震診断補助対象住宅→2/3補助（上限30千円）
・大仙市に存する昭和56年5月31日以前に建築された木造戸建住宅であること他。
◇耐震改修補助対象住宅→2.3%補助（上限500千円）
・耐震診断の結果上部構造評点が1.0未満の住宅であること他。

◇平成24年度事業 耐震診断10戸、耐震改修3戸

●市営住宅耐震改修事業
○事業年度 平成24年度～26年度（3年間）
・概算総額 216,949千円
・H24耐震診断及び補強計画作成8,833千円、H25実施設計6,543千円、H26耐震改修工事201,573千円

◇平成24年度事業 耐震二次診断業務・補強計画作成業務
上大町市営住宅、神岡AD棟市営住宅、愛宕市営住宅1号棟・2号棟

4. これまでの成果と今後の方向性
昨年度までの一般木造住宅への補助事業実績は目標に届いていないが、市リフォーム事業の要件の一つに耐震化工事もあることから、診断を行わずにリフォーム事業で補強工事を実施するケースもある。県では耐震化促進事業の加速を目指して補助率の上乗せを検討中であることから、国・県の動向を注視し対応する。

<p>《H23年度事務事業評価における内容》</p> <p>東日本大震災を受けて耐震化の促進が求められる中、全国的に災害に強いまちづくりの重要性が高まっている。その一つの手段として一般木造住宅の耐震化促進があり、リフォーム事業とタイアップして一般住宅の安全性向上を図ってきたが、さらに加速させるためには、国・県・市とも補助率の上乗せに向けた要綱改正等を検討し素早く改善しながら継続することが望まれる。また、建築物の耐震化は耐震化促進計画に基づいて順次実施していく。</p>	<p>総合評価 (今後の方向性)</p> <p style="font-size: 1.2em;">改善しながら 継続</p>
--	---

5. 財源内訳 (単位:千円)

予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
10,633	4,867		5,166	600

【国県支出金】 14款2項6目 : 住宅・建築物安全ストック形成事業補助金
15款2項7目 : 木造住宅耐震改修等事業費補助金
【その他】 13款1項7目 : 市営住宅使用料

事 業 説 明 書

8 款 4 項 1 目 20 事業

新規 ・ **継続** ・ 廃止

課所名 建設部 建築住宅課

(施策の大綱) 住宅環境の整備

(施策) 住宅、宅地の整備

(基本事業) バリアフリー化の推進

【事業名】 住宅リフォーム支援事業費				
【説明項目】 住宅リフォーム支援事業費について				
【24年度】	60,070 千円	【23年度】	0 千円	【増減額】 60,070 千円
1. 事業の目的				
<p>環境対策工事を含む住宅のリフォーム工事を行う者に対し、財政的支援を実施することにより、居住環境の向上を図るとともに、市内住宅産業の活性化及び雇用の創出に資することを目的とする。</p>				
2. 事業の目標（数値目標）				
<ul style="list-style-type: none"> ・ H24年度目標 300件（補助金平均交付額200,000円） 60,000千円 				
3. 事業の概要				
<ul style="list-style-type: none"> ■ 補助金の額を全体工事費の10%とし、上限を20万円とする。（H23年度30万円） ■ 補助金交付対象工事（環境対策工事） <ul style="list-style-type: none"> A) 環境対策として行う公共下水道、農業集落排水及び合併浄化槽に接続するためのトイレの水洗化及び風呂場、流し等の改修工事 B) 省エネルギーを促進するために行う断熱工事、太陽光発電設備設置工事等 C) 高齢者及び障害者に配慮したバリアフリー化工事 D) 昭和56年5月31日以前に建築された木造住宅の耐震化工事 ■ 補助金交付対象要件 <ul style="list-style-type: none"> A) 全体工事費が30万円以上であって、環境対策工事に係る経費が全体工事費の2分の1以上を占めるもの B) 市内に事業所を有する法人または市の住民基本台帳に登録されている者が請負人となって施工する者 C) この補助金の交付を以前に受けていないこと 				
4. これまでの成果と今後の方向性				
<ul style="list-style-type: none"> ・ H21年度（H22.2～H22.3） 41件 9,427,038円（229,927円/件） ・ H22年度（H22.4～H23.3） 422件 85,983,292円（203,751円/件） ・ H23年度（H23.4～12/9時点）427件 89,300,627円（209,134円/件） ・ H21（年度末）からの事業であるが、好評によりH22年度に予算の追加措置をしている。H23年度末で約13億円の経済効果を算出しており、本事業に対する関心も高いことから、更なる市内住宅関連産業の活性化等対策としてH24年度以降の継続をも見据えながら状況を伺う。 				
《H23年度事務事業評価における内容》 ・ 既にH22年度を上回る申請があり、本事業が市民及び市内住宅関連業者に周知され、有効に活用されている。				総合評価 （今後の方向性） 改善しながら 継続
5. 財源内訳				
（単位：千円）				
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
60,070				60,070

事 業 説 明 書

8 款 4 項 2 目 10 事業

新規 ・ **継続** ・ 廃止

課所名 建設部 建築住宅課

(施策の大綱) 住宅環境の整備

(施策) 住宅・宅地の整備

(基本事業) 市営住宅の整備・管理

【事業名】 社会資本整備総合交付金事業費（地域住宅事業） 【説明項目】 地域住宅計画に基づく社会資本整備総合交付金事業について				
【24年度】 10,357 千円 【23年度】 17,366 千円 【増減額】 △ 7,009 千円				
1. 事業の目的 ・大仙市公営住宅等長寿命化計画に基づく、安全で快適な住まいを長期的に確保するため、予防保全な観点から修繕や改善の計画を定め、市営住宅の長寿命化による更新コストの削減と事業量の平均化を図ることを目的とする。				
2. 事業の目標（数値目標） ・大仙市公営住宅等長寿命化計画に基づき、市営住宅のうち共同住宅（上大町・福見町・船場町・笑の口・神岡・愛宕・境）を、施設の耐用年数である70年間供用できるように維持管理していく。 【目標数値】 ・市営住宅のうち共同住宅において5年以内に改善し、福見町・船場町におけるライフサイクルコストを約1,200万円縮減する。				
3. 事業の概要 ●船場町市営住宅には配管用炭素鋼鋼管（耐用年数30年）を使用しているが、排水管改修で長寿命型である耐熱性硬質塩ビ管（耐用年数40年以上）に交換する。 ○事業費 9,523千円（430m、86カ所） ●福見町市営住宅は、外壁を剥落防止及び断熱改修することで安全性、耐久性向上を図る。今年度は1号棟の実施設計を行い、25年度以降に1～4号棟まで順次改修工事を進める計画。 ○事業年度 平成24～28年度（5年間） ○概算事業費 139,901千円 ・24年度 834千円 1号棟の実施設計 ・25年度 20,800千円 1号棟の設計監理・工事監理・改修工事、2号棟の実施設計 ・26年度 34,134千円 2号棟の設計監理・工事監理・改修工事、3号棟の実施設計 ・27年度 42,872千円 3号棟の設計監理・工事監理・改修工事、4号棟の実施設計 ・28年度 41,261千円 4号棟の設計監理・工事監理・改修工事				
4. これまでの成果と今後の方向性 【実施済】 ・23年度 神岡EF棟市営住宅屋上防水工事、福見町市営住宅排水管改修工事 【実施計画に搭載された事業計画】 ・24年度 船場町市営住宅排水管工事、福見町市営住宅外壁等断熱改修工事実施設計 ・25年度 福見町市営住宅外壁等断熱改修工事（～27年度）				
《H23年度事務事業評価における内容》 市営住宅の入居者の日常生活に支障を来すことのないように、修繕工事や住宅の長寿命化につながる工事は必要なことであり、入居者の安全と安心を確保することは管理者の責務と考える。				総合評価 （今後の方向性） 改善しながら 継続
5. 財源内訳 （単位：千円）				
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
10,357	4,520		5,837	
【国県支出金】 14款2項6目：社会資本整備総合交付金事業 【その他】 13款1項7目：市営住宅使用料				

事 業 説 明 書

8 款 5 項 1 目 11 事業

新規 ・ **継続** ・ 廃止

課所名 建設部 道路河川課

(施策の大綱) 生活の安全、安心確保

(施策) 河川の整備

(基本事業) 河川整備の推進

【事業名】 河川維持管理費				
【説明項目】 河川の維持管理費について				

【24年度】	6,032 千円	【23年度】	3,000 千円	【増減額】 3,032 千円
1. 事業の目的				
河川環境向上のため、過去の水害発生状況、現在の利用状況、環境保全などを総合的に勘案し維持管理を実施する。				
2. 事業の目標（数値目標）				
河川沿線地域を洪水から守るため、河川環境の保全に配慮しながら河道掘削などを行い、河川の流れをスムーズにして洪水時等の被害を最小限に押さえることができるよう整備を図る。				
【目標数値】				
民家等に被害を及ぼす箇所を優先的に整備する。				
3. 事業の概要				
平成24年度事業概要				
地域	事業費（千円）	事 業 概 要		
大曲	1,332	2 河川の工事費他、借上げ等		
西仙北	1,902	2 河川の工事費		
協和	2,412	2 河川の工事費他、借上げ等		
南外	386	借上げ等		
計	6,032			
4. これまでの成果と今後の方向性				
河川に堆積している土砂等を排除し、河床を整備することにより、豪雨時に災害を未然に防止できた。				
また、今後も順次整備していき、豪雨時の被害を未然に防止する。				
《H23年度事務事業評価における内容》				総合評価 (今後の方向性)
・河川に堆積している土砂等を排除することにより、河川の流れをスムーズにし、豪雨時に、民家への浸水や、農地への冠水被害を未然に防止できた。				改善しながら 継続
5. 財源内訳				
(単位:千円)				
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
6,032				6,032

事 業 説 明 書

8 款 7 項 1 目 10 事業

新規 ・ **継続** ・ 廃止

課所名 建設部 都市管理課

(施策の大綱) 公園・緑地の整備

(施策) 公園・緑地の整備、緑化の推進

(基本事業) 公園緑地の整備

【事業名】 公園維持管理費					
【説明項目】 公園維持管理費について					
【24年度】	99,902 千円	【23年度】	94,602 千円	【増減額】	5,300 千円
1. 事業の目的					
<p>利用者が快適に過ごせるよう年間を通じた適正な維持管理を行うことにより、福祉と健康の増進に寄与する。また、自然環境を保全・維持し未来へ継承する。</p>					
2. 事業の目標（目標数値）					
<ul style="list-style-type: none"> ・公園・緑地を定期的に巡回点検し、問題が発生する要因がないか確認する。 ・清掃状況、樹木剪定、草刈込等の環境状況に配慮し、衛生的で安全な公園を維持する。 					
3. 事業の概要					
■主な事業内容					
<ul style="list-style-type: none"> ・賃金：草刈、冬囲い、雪下ろし、樹木害虫防除等 ・修繕料：公園施設(四阿等)修繕、遊具修繕等 ・委託料：公園管理委託、植物管理委託、除雪業務委託、指定管理料等 					
■地域別内訳					
地域	公園数	面積合計	歳出(千円)	歳入(千円)	備 考
大曲	34	127.06 ha	53,656	688	一部指定管理者制度導入中
神岡	6	19.00 ha	11,058		一部指定管理者制度導入中
西仙北	11	12.54 ha	2,622	31	
中仙	11	216.60 ha	12,621		
協和	9	7.27 ha	4,859		一部指定管理者制度導入中
南外	3	21.96 ha	4,260		一部指定管理者制度導入中
仙北	7	16.01 ha	2,069		
太田	20	12.10 ha	8,757		一部指定管理者制度導入中
合計	101	432.54 ha	99,902	719	
4. これまでの成果と今後の方向性					
<p>清掃状況・樹木剪定・芝生刈込・設備の維持管理が適切に行われ、利用者が安全で衛生的に利用できる公園の維持管理が実施される。</p>					
《H23年度事務事業評価における内容》					総合評価 (今後の方向性)
<p>市民の憩いの場として、また多くの各種行事に利用されているため、今後も事業の継続が必要。</p>					改善しながら 継続
5. 財源内訳					
					(千円)
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源	
99,902			719	99,183	
(千円)					
【その他】都市管理課	13款01項07目	:	行政財産使用料	45	
	13款01項07目	:	公園使用料	325	
	20款05項05目	:	自動販売機電気使用料	288	
	20款05項05目	:	テニスコート電気使用料	30	
西仙北支所	13款01項07目	:	行政財産使用料	3	
	20款05項05目	:	自動販売機電気使用料	28	

事 業 説 明 書

8 款 7 項 3 目 14 事業

新規 ・ 継続 ・ 廃止

課所名 建設部 都市管理課

(施策の大綱) 公園・緑地の整備

(施策) 公園・緑地の整備、緑化の推進

(基本事業) 公園緑地の整備

【事業名】 飯田沼つり公園整備事業費 【説明項目】 飯田沼つり公園整備事業費について				
【24年度】	6,090 千円	【23年度】	6,407 千円	【増減額】 △ 317 千円
1. 事業の目的 つり公園の機能強化・市民の憩いの場の創出・市民参加型の計画の推進。				
2. 事業の目標（目標数値） 板柵護岸工事等の実施による、つり公園の安全・快適な利用。				
3. 事業の概要 ■全体事業内容 ○事業期間 : H17～H27 ○全体事業費 : 132,000,000円 ○事業面積 : A = 18,296 m ² (沼部分 : A = 12,562 m ²) つり場護岸整備、管理道路、駐車場整備、芝生広場整備 他 【H24年度事業費】 ・工事請負費 6,090,000円 つり公園板柵護岸整備工事(板柵護岸 2 段 L=55.8m)				
4. これまでの成果と今後の方向性 機能強化により、つり公園を安全で安心して利用できることが可能になる。				
《H23年度事務事業評価における内容》 整備を進めることで、安全・快適に利用でき、より多くの利用も期待できるとともに、市民の憩い場としての意識を持つなど、維持管理にも協力していただく効果も期待できるため継続が必要。				総合評価 (今後の方向性) 改善しながら 継続
6. 財源内訳				
(千円)				
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
6,090				6,090

事 業 説 明 書

(土地区画整理事業特別会計)

1 款 1 項 1 目 10・11・12 事業

新規 ・ 継続 ・ 廃止

課所名 建設部 土地区画整理事務所

(施策の大綱) 市街地の整備

(施策) 良好なまちづくりの推進

(基本事業) 土地区画整理事業の推進

【事業名】 大曲駅前第二地区土地区画整理事業費 (補助分・単独分・県補助分)

【説明項目】 事業内容について

【24年度】 969,661 千円 **【23年度】** 1,226,706 千円 **【増減額】** △ 257,045 千円

1. 事業の目的

大曲駅前第二地区は市の中心市街地で商店街や住宅地域で構成されているが、公共施設の整備の遅れから土地の利用状況が極めて悪く、新幹線開通による交通の利便性や商業交流拠点地区の地区特性を十分活用していない状況であり、早急な基盤整備が望まれる地区である。

このため、土地区画整理事業により、道路、水路及び公園等の公共施設を整備し、交通の円滑化、歩行者の安全を確保することにより、賑わいのある商店街の形成や、宅地利用の増進など中心市街地の再生を図るものである。

2. 事業の目標 (数値目標)

※全体計画数値目標…土地区画整理事業による施行期間内での進捗率 100%

※H24年度数値目標…年度末進捗率 91.0%

3. 事業の概要

※大曲駅前第二地区土地区画整理事業

…〔施行期間〕平成元年度～27年度 〔施行地区面積〕25.7ha 〔総事業費〕29,800,000千円

※H24年度 事業概要等

大事業	事業概要	事業費	工事費	用地補償費	換地諸費	事務費
補助分	中通線整備工事 (新設・舗装) 区画道路整備工事 街区整地工事 物件移転補償7戸10棟他	885,000	532,400	337,600	15,000	0
単独分	借家人、土地損失補償等 水路工事	55,485	10,000	35,500	0	9,985
県補助分	物件移転補償1戸2棟	29,176	0	29,176	0	0
合計		969,661	542,400	402,276	15,000	9,985

※H24年度 財源内訳

大事業	事業費	国費	県費	市債	一般財源
補助分	885,000	531,000	0	335,900	18,100
単独分	55,485	0	0	9,500	45,985
県補助分	29,176	0	29,176	0	0
合計	969,661	531,000	29,176	345,400	64,085

4. これまでの成果と今後の方向性

「大曲駅前第二地区土地区画整理事業」の平成23年度末での事業費ベース進捗率は88%の見込みであり、概ね計画通り執行しており、大曲丸の内・通町・中通町・黒瀬町地区の物件移転補償は終了している。今後も計画どおり平成27年度の完了を目指して事業を推進する。

《H23年度事務事業評価における内容》

本事業の実施により、公共施設の整備は順調に進んでいる。秋田新幹線等の充実した高速交通体系や従来から有している商業・医療・福祉等の都市機能を活かせる地区になるように今後も事業の効率化・重点化を図りながら面的整備を進める。また、都市計画道路「中通線」の整備は、市街地再開発事業の中核事業として移転改築する仙北組合総合病院への重要なアクセス道路等となることから、着実な事業の実施が必要である。

総合評価
(今後の方向性)

改善しながら
継続

5. 財源内訳

(単位:千円)

予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
969,661	560,176	345,400		64,085

【国県支出金】 2款1項1目、3款1項1目 : 社会資本整備総合交付金、大曲駅前第二地区土地区画整理事業費補助金

【市債】 8款1項1目 : 大曲駅前第二地区土地区画整理事業債

事 業 説 明 書

(土地区画整理事業特別会計) 1 款 1 項 1 目 13 事業
(公共下水道事業特別会計) 2 款 1 項 1 目 14・15 事業

新規 ・ 継続 ・ 廃止

課所名 建設部 土地区画整理事務所

(施策の大綱) 市街地の整備

(施策) 良好なまちづくりの推進

(基本事業) 土地区画整理事業の推進

【事業名】	住宅市街地総合整備事業費				
【説明項目】	事業内容について				
【24年度】	141,220 千円	【23年度】	173,971 千円	【増減額】	△ 32,751 千円
1. 事業の目的					
<p>大花町地区は老朽住宅が密集しているため、区画整理事業の施工には一時的な集団移転を行う必要がある。このため、移転対象者のために「都市再生住宅」を建設した上で、老朽建築物の除却事業を実施し、防火水槽・児童遊園、公共下水道を整備することにより、地区内の居住環境の向上を図るものである。</p>					
2. 事業の目標（数値目標）					
<p>大花都市再生住宅を活用し、老朽建築物除却、下水道整備などを行い、区画整理事業を円滑に推進する。 全体計画数値目標：施行期間内での進捗率 100% H24年度数値目標： " 84.1%</p>					
3. 事業の概要					
<p>〔施工期間〕 平成15年度～26年度（予定） 〔総事業費〕 2,635,000千円 〔施行地区面積〕 6.36ha（大花町、大曲黒瀬町地区の一部） 〔整備内容〕 都市再生住宅建設（RC造7階建 入居戸数52戸）、老朽建築物除却 37戸 防火水槽2基、児童遊園、下水道整備 L=2,640.2m 〔参考〕 H24年度末都市再生住宅入居見込数 48戸</p>					
H24年度 事業概要等					
○住市総（土地区画整理事業特別会計分）					
事業概要					
	事業費	工事費	用地補償費	測量試験費	事務費
都市再生住宅外構工事	7,700	7,700	0	0	0
老朽建築物等除却 2戸	49,000	0	49,000	0	0
合計 ①	56,700	7,700	49,000	0	0
○住市総（公共下水道事業特別会計分）					
事業概要					
	事業費	工事費	用地補償費	測量試験費	事務費
補助分 管渠延長 934m ②	78,300	78,300	0	0	0
単独分 管渠延長 83m 実施設計業務委託他 ③	6,220	5,548	0	481	191
合計	84,520	83,848	0	481	191
H24年度 財源内訳					
上記区分	事業費	国費	市債	その他	一般財源
①	56,700	28,350	26,900	0	1,450
②	78,300	39,150	35,200	3,950	0
③	6,220	0	5,700	520	0
合計	141,220	67,500	67,800	4,470	1,450
4. これまでの成果と今後の方向性					
<p>大花都市再生住宅を建設したことにより老朽建築物の除却が円滑に進み、さらに、平成23年度より開始している下水道工事によって、この地区の居住環境が整備される。今後も平成26年度の完了を目指して事業を推進する。</p>					
<p>《H23年度事務事業評価における内容》</p> <p>住宅市街地総合整備事業と土地区画整理事業の活用により、老朽住宅密集の解消や公共施設の整備が進み、大花町地区内の整備改善に寄与している。また、同地区内の公共下水道の整備も始まり、市街地としての土地の有効利用と良好な居住環境の整備、さらには防災面の向上を図っていく。</p>					総合評価 (今後の方向性) 改善しながら 継続
5. 財源内訳					
(単位:千円)					
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源	
141,220	67,500	67,800	4,470	1,450	
【国県支出金】 22会計 2款1項1目、32会計 3款1項1目 : 社会資本整備総合交付金 【市 債】 22会計 8款1項1目、32会計 7款1項1目 : 住宅市街地総合整備事業債、公共下水道事業債 【そ の 他】 32会計 1款1項1目 : 下水道受益者負担金					